

四季の里の活性化に向けたワークショップ

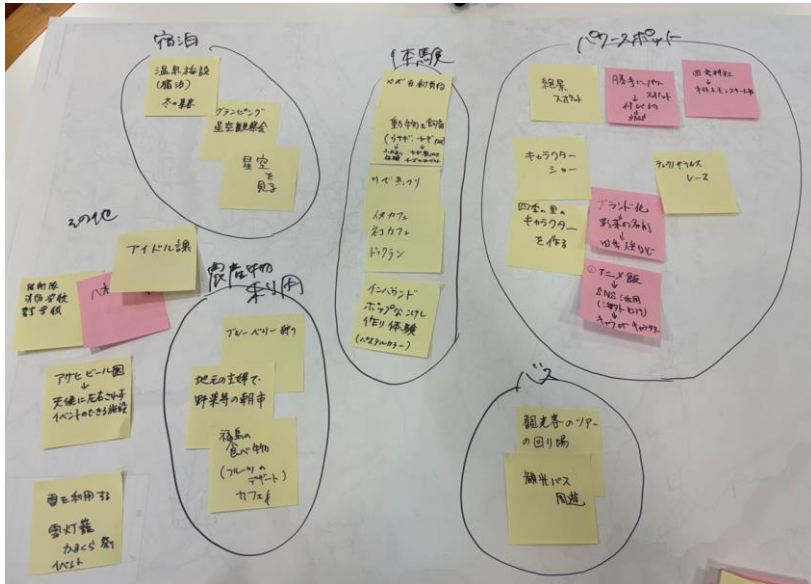
日 時：令和7年1月25日(土) 午後2時～

場 所：四季の里 憩の館

◎各グループから出された意見

■Aグループ 【農業・観光（インバウンド含む）の振興】

話題性のあるコンテンツや福島ならではのコンテンツの発見・発信をさらに強化していくことで、若者や海外からの旅行客を取り込んでいけるのではないかと、いった意見があげられました。



【パワースポット】

- ・絶景スポットや神社（四季神社）のような”バズる”パワースポットがあるとよいのではないか
- ・四季の里の独自のキャラクターを作ってキャラクターショーをしてみてもどうか。
- ・アニメ飯のような面白さのある食べ物は人気
- ・雪灯籠など雪を利用したイベントやお祭りがあるとよい。
- ・ブランド野菜の発信などできるとよい。
- ・福島市でアイドル課をつくってPRしてみてもどうか。

【体験】

- ・小動物と触れ合える場所、ドッグランなどがあるとよい。
- ・ヤギを飼育し、ふれあい体験や加工場をいかしたチーズ、ヨーグルトづくり体験をしてみてもどうか。
- ・ポップなパステルカラーのこけしづくり体験は海外の観光客の関心も集められるのではないかと。

【宿泊】

- ・冬の集客が狙えるような宿泊施設や温泉などがあるとよい。
- ・綺麗な星空をいかしたグランピング、星空観察会を開催してみてもどうか。

【農産物利用】

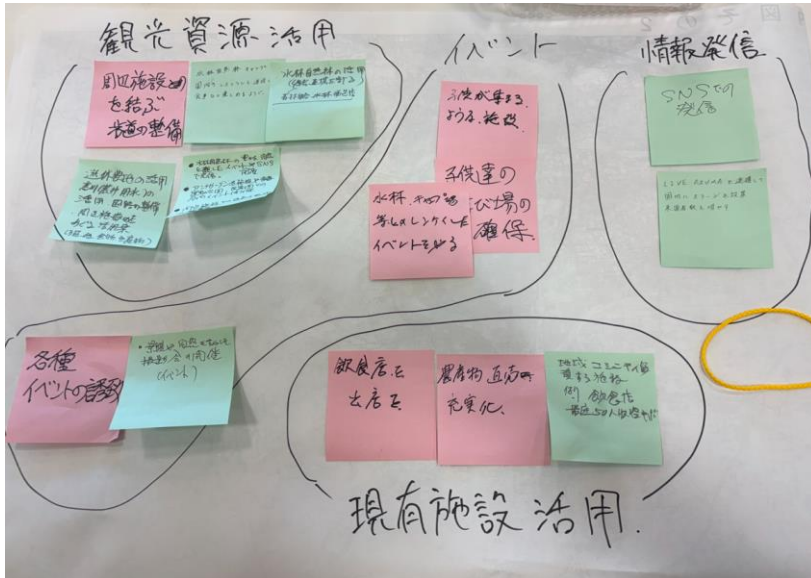
- ・農地を借りてブルーベリーの畑を作り、収穫体験などができる場所があるとよい。
- ・福島のフルーツを活かしたカフェがあるとよい。
- ・週替わりで様々なお店が楽しめるしくみがあっても良いのではないかと。

【バス】

- ・定額のチケット制など周辺を周遊しやすい観光バスがあるとよい。
- ・観光客ツアーを呼び込むべきではないかと。

■Bグループ 【自然や周辺施設の活用・連携】

周辺の観光資源（水林自然林や荒川）との連携や、遊休農地の活用、イベントの開催を行い、それをSNSで発信することでより多くの人に知ってもらうことが重要ではないか、といった意見があげられました。



【観光資源活用】

- ・周辺施設を結ぶ歩道を整備してはどうか。
- ・四季の里のレストランと連携し食事などが楽しめる水林自然林キャンプができるとよい。
- ・日本一の清流である荒川という観光資源を活用した観光スポットがあるとよい。
- ・遊休農地を活用したイベントなどができるとよい。ドローン等を活用した空のイベントなどができるとよい。

【イベント】

- ・子どもが集まるような施設があるとよい。
- ・水林自然林やキャンプ場等と連携したイベントを開催できるとよい。
- ・景観や自然を生かし、撮影会など開催できるとよい。

【情報発信】

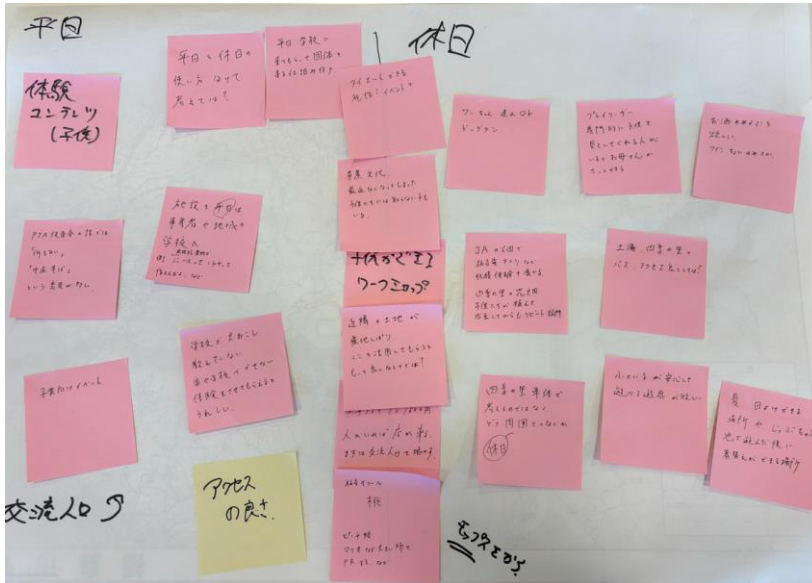
- ・水林自然林の自然や、自然を楽しむイベントの様子などをSNSで積極的に発信してはどうか。
- ・LIVE AZUMAと連携して園内にステージを設置し、ライブビューイングなどが開ける場所としてはどうか。

【現有施設活用】

- ・コミュニティの醸成に資するような飲食店があるとよい。
- ・農産物直売をさらに充実化させてはどうか。
- ・50人ほどが集まれるコミュニティ施設があるとよい。

■Cグループ 【幅広いファミリー層が楽しめる事業】

加工館などを活用し、平日に学校の授業などで使えるコンテンツがあると、休日には子どもたちが保護者を巻き込んで遊びに来るような施設となるのではないかと、いった意見があげられました。



【平日】

- ・事業者や地域の学校が使いやすい施設となればよいのではないかと。
- ・学校での学習の一環として、加工館も活用しながら、農作物をつくり加工するといった学習などで利用できるとよい。
- ・ボーイスカウトで火おこし体験をするなど、普段学校でできないことができるとうい。
- ・PTAからの四季の里への意見では、「何もない、中途半端」といったことがあったが、なにかとがったものがあると平日稼働率が高まるのではないかと。

【休日】

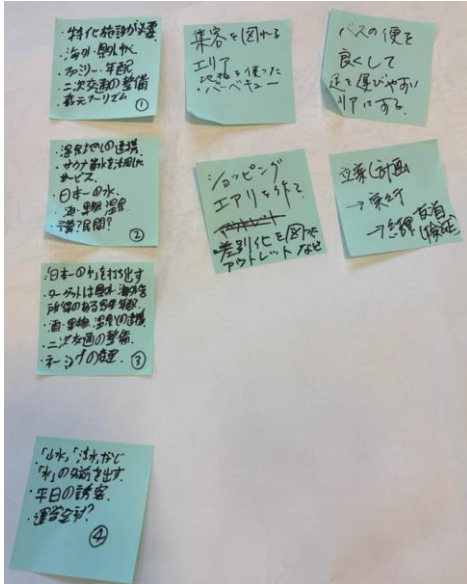
- ・芋煮ができる場所があるとよい。
- ・ドッグランがあるとよい。
- ・プレイリーダーなど、専門的に子どもをみてる人がいると、親は安心してゆっくりできるのではないかと。
- ・お酒が飲める場所があるとよい。
- ・夏に日差しが避けられる場所や、じゃぶじゃぶ池で遊んだ後に着替えられる場所がほしい。
- ・体験収穫祭など、子どもも楽しめる施設としてブラッシュアップしてほしい。

【全日】

- ・子どもが学校の授業などで四季の里を知り、親を巻き込んで休日に遊びに来る、といった流れができるとよい。
- ・周辺の酒や温泉といったコンテンツを巡ることのできるツーリズムを活性化させられるとうい。
- ・観光向けや学校向けの借りやすいバスがあるなど補助があるとよい。
- ・近隣の農地活用を進めて、エリアとして盛り上げられるとうい。
- ・福島=桃というイメージから、任天堂のピーチ姫とコラボするなど、大きなPRがあるとよい。

■Dグループ 【農業・観光（インバウンド含む）の振興】

施設としての魅力を向上させるためには、「何かここでしかできない」というコンセプトが必要、例えば清流荒川の水をコンセプトとし、園の名前も変えてみてはどうか、といった意見があげられました。



【コンセプト】

- ・四季の里という名前を変えてはどうか。
- ・何か一つここでしかできない、という特化施設が必要。
- ・四季の里とホームページで検索しても一番に出てこない。
- ・ターゲットは県外・海外を含むファミリー層や年配としてはどうか。

【水資源の活用】

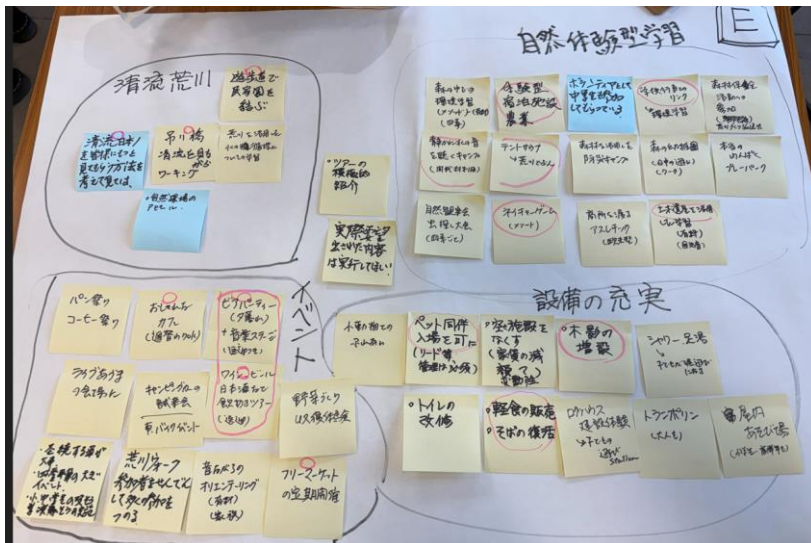
- ・14年連続水質1位の荒川の水が楽しめる場所としてはどうか。
- ・蔵元ツーリズムや日本酒、ビールなどが楽しめる場所があると、きれいな水を使っているというPRができる。
- ・サウナなど水を活用したサービスがあるとよい。
- ・周辺の温泉地と連携できると良い。

【観光】

- ・地元のものを使ったバーベキューができる場所があるとよい。
- ・他の施設と差別化が図れるようなコンセプトをもったアウトレットなどがあるとよい。
- ・バスの便を良くし、足を運びやすいエリアとしてほしい。
- ・二次交通を整備し、回遊性のあるエリアとしてほしい。

■Eグループ 【自然や周辺施設の活用・連携】

周辺の荒川や民家園などとの回遊性を向上させ、小中学校の環境学習や防災キャンプなど、様々なアクティビティやイベントでの連携を進めてはどうか、といった意見があげられました。



【清流荒川】

- ・遊歩道を整備して民家園と結んではどうか。
- ・荒川を間近で見られる吊り橋など清流を見てもらえる方法があるとよい。
- ・清流を見ながら体験学習ができるとよい。

【イベント】

- ・ワインやビール、日本酒などが楽しめるビアガーデンがあるとよい。
- ・週替わりのおしゃれなカフェがあるとよい。
- ・定期的にフリーマーケットが開催されているとよい。
- ・キャンピングカーの試乗会や車・バイクイベントなど企業と連携したイベントがあるとよい。
- ・イベントは年間で継続的に開催されるとよい。四季ごとに大きなイベントを開催してほしい。

【自然体験型学習】

- ・小中学生のボランティア活動など、学校行事とリンクした環境学習ができるとよい。
- ・農業体験ができる体験型宿泊施設があるとよい。
- ・森林を活用した防災キャンプができるとよい。
- ・ネイチャーゲームなどが開催できるとよい。
- ・土木遺産を活用した学習ができる場所があるとよい。

【設備の充実】

- ・夏に日差しを避けられるような屋根のある場所がほしい。
- ・ペットが同伴入場できる機会が可能な限り頻繁かつ定期的にあるとよい。
- ・そばなど簡単な食事ができる場所があるとよい。
- ・トイレをきれいに改修してほしい。